



創立 60 周年記念事業キャッチフレーズを制定しました



since 1949
Saitama University

共に歩もう

埼玉大学創立 60 周年記念事業

「発展する大学」と「地域との連携」を主軸において、短く印象深いフレーズを模索して、このキャッチフレーズとしました。埼玉大学創立 60 周年に際し、これまでの 60 年を創り、支えてきた人々と、これからも地域に根ざした環境から、さらに埼玉大学が発展していくことをめざして「共に歩もう」をキャッチコピーとして 60 周年記念事業を展開していきます。キャッチフレーズのデザインは、シンボルマーク同様、教育学部の高須賀昌志先生に作成いただきました。

「埼玉学のすすめ」第1回連続市民講座 大盛況！！ 聴衆500人超え！

裏面に続く

○埼玉大学創立 60 周年記念連続市民講座（第 1 回）が開催されました。

読売新聞さいたま支局との共催による埼玉大学創立 60 周年記念連続市民講座「埼玉学のすすめー埼玉の過去・現在・未来を知るー」が 3 月 28 日（土）教養教育 1 号館 1-301 教室（モニター会場：202 教室）にて開催されました。第一回目は「埼玉の教育と未来ー教育に希望を託す社会をー」をテーマとして教育学部稲葉喜徳教授が講演を行いました。当日はさいたま市を中心にして 500 名を超える皆様が集まり、熱心に聴講されていました。

当日は 13 時から受付を開始し、程なく 1-301 教室の余席がなくなり、そこに席をお取りできなかった方にはモニター受講会場にて聴講いただきました。

講演に先立ち、上井喜彦学長から「埼玉大学の教員が各自の専門性を生かし、埼玉に焦点を当てて、様々な話題をわかりやすくお話ししたいので、是非期待していただきたい。」と抱負が、つづいて本講座の開講をご提案いただいた、読売新聞さいたま支局佐伯和宏支局長からは、「この講座を通して、埼玉大学の教員を知ってもらうきっかけとなれば」、また、来賓としてご来場いただいた埼玉県教育委員会島村和男教育長からは、「埼玉を切り口に、幅広い分野にわたる講座が開かれることは、学問的に埼玉を見つめ直すよい機会となる。」との祝辞をいただきました。

引き続き稲葉先生の講演が行われ、埼玉県教育委員会教育長として在職した経験のなかから、教育現場での様々な事例や統計データをもとに、過去と現在の埼玉における教育活動のトピックスを紹介いただき、さらにその教育に希望を託すためには、教育現場に足を運んで、教育に積極的に関わることが必要である、とのお話がありました。最後は、講演の中で感動的なエピソードとともに紹介された会唱歌。



「旅立ちの日に」が流れるなかでの散会となりました。終了後、何人かの聴衆の方が、講師に直接お話をされたり、熱心に質問される姿も見られました。講演の内容につきましては後日、「講演集」を作成する予定です。ご参加いただいた市民の皆様にお礼申し上げます。初回ゆえの不手際、各所に散見されたかと思いますが、この経験を生かし、次回以降の充実した講演会開催への糧にしていきたいと思っております。また、運営に協力いただいた学内教職員・学生の皆さんにもここにお礼申し上げます。

次回は 4 月 25 日（土）「古代の埼玉と東アジアー古墳時代の対外交流ー」のテーマで教養学部高久健二准教授にご講演いただく予定です。

また、講座は学生も参加可能ですので、特に埼玉大生もふるってご参加ください。

○ 創立 60 周年記念グッズ第 1 弾

「埼玉大学饅頭」と「さくらリーフパイ」が販売されました。

埼玉大学生協のご協力により、より日持ちのする商品を開発いただき、埼玉大学オリジナル商品として 2 品の販売が 3 月 2 4 日から始まりました。「埼玉大学饅頭」は「埼玉大学」の烙印入り、「さくらリーフパイ」はさくら色と香りが特徴で、桜の葉のデザインにあしらっています。包装紙にはニューズレター前号でご紹介した「創立 60 周年記念シンボルマーク」シールが貼られています。なお販売に関わる収益金の一部は創立 60 周年記念事業へ役立てることにしています。今後、文具等の創立 60 周年記念グッズの開発・販売が予定されています。



さくらリーフパイの包装紙デザイン担当の埼玉大学美術部の学生さんのコメントをご紹介します。

「埼玉大学のロゴマークは、緑の生い茂る地球にも見えます。そこから咲き誇る桜の木からは、さくらリーフパイが舞い散り、皆さんの「出会い・お別れ」を温かく見守ります。

また、創立 60 周年に寄せて、埼玉大学生協専務理事柴田信廣さんからご挨拶をいただきましたのでご紹介します。

「埼玉大学創立 60 周年おめでとうございます。この度、大学 60 周年を記念して「埼玉大学堂」を一層強めて頂く事を願い埼玉大学ロゴマーク入り商品を 2 つ開発しました。今回誕生した「埼玉大学饅頭」と「さくらリーフパイ」を紹介します。この企画は、さいたま市商工会議所の紹介で、市内の老舗菓子店「御菓子司足立屋」さん、「洋菓子店 BANC DOOR」さんの、地元で長きにわたり愛され、親しまれている 2 社をパートナーとしました。

埼玉大学にみさわしい内容とするために、「地域」「伝統」「未来の可能性」などをコンセプトに商品開発を行いました。2 つのオリジナル商品は大学関係者、地域の方に親しまれる内容に仕上がったと思います。包装紙デザイン作成は本学美術部の新城さん、高木さんに委嘱しました。今後この商品を、入学式、卒業式、同窓会など埼玉大学関係者が集う時、また、研究室・職場・ラウンジホールでの憩いの場面でご利用頂ければ幸いです。

埼玉大学生活協同組合は、今後も埼玉大学の魅力づくりに貢献するため、個性的で地域を大切にしたいオリジナル商品開発について大学に提案してまいります。」